

言語処理学会第4回年次大会

特別セッション（コーパスに基づく談話・対話研究：対話現象の分析）

自然談話データ「女性のことば・職場編」による談話研究の実例と利用法

遠藤織枝（文教大）・本田明子（筑波大大学院）

1. はじめに

本研究は現代日本語研究会有志¹⁾による共同研究である。同会ではこれまでも自然談話資料を用いて言語使用の実態分析を行ってきたが、より大規模な自然談話資料の整備の必要を痛感し、3年を費やして自然談話の録音収集、文字化、データベース化に取り組み、その結果を公開することとした。以下に自然談話データ「女性のことば・職場編」の概要と、これを用いた研究の試みを紹介する。

2. 自然談話データ「女性のことば・職場編」の内容

1993年10月から11月にかけて、20代（5人）30代（5人）40代（6人）50代（3人）の計19人の女性（協力者）に依頼して、それぞれの職場での自然談話を録音してもらった（資料1）。録音は、朝、職場に着いてから1時間（「朝」とする）、会議・打ち合わせなどの1時間（「会議」とする）、休憩時の1時間（「休憩」とする）の3つの場面で行った。「会議」でフォーマルな談話を、「朝」「休憩」でインフォーマルな談話を得ようと試みた。これら3場面、3時間の録音のうち、談話としてまとまりのある部分を約10分ずつ取り出し、文字化した。文字化した談話量は「朝」221分、「会議」138分、「休憩」193分である。「会議」は、20代女性が参加することが少ないためか、他の場面より短くなっている。

協力者にはフェイスシートに、話者の職業、職種、年代、役職、話者間の関係などを記入してもらい、談話に参加している話者たちの情報を得るようにした。このフェイスシートによる情報と文字化した談話を組み合わせてデータベースを作成した。データベースに取り入れた項目は以下のとおりである（資料2）。

- ・行番号・発話・資料コード・調査日・場面1・場面2・場所・直前文の話者との関係
- ・発話者仮名・発話者性・発話者年齢・発話者職業・発話者職種・発話者役職・相手性
- ・相手年齢・相手職業・相手職種・相手役職・性別関係・年齢関係・職場関係1
- ・職場関係2・職階関係・入社年関係・つきあい年関係・接触量関係・会話量関係
- ・親疎関係

データベース化の際には1発話を1レコードとした。発話の認定は①意味のまとまりがある②ポーズがある③他者のさえぎりが無い（あいづちはさえぎりとはしない）ことを基準に行った。レコード総数は、11421となったが、実質的な発話を含まないレコード（くしゃみ、笑いなど＝188レコード）と、発話部分が聞き取り不能のレコード（131レコード）を除くと11102レコードとなる。場面別のレコード数は「朝」3872（35%）、「会議」2613（24%）、「休憩」4617（42%）である。

発話者は154人（女性74人、男性62人、不明18人）で、女性では20代の22人、男性では30代の19人がもっとも多かった。発話量は、協力者自身のもの5681レコード、それ以外のもの5365レコードである。

3. 自然談話データ「女性のことば・職場編」による研究例

3-1 女性専用文末形式

尾崎喜光(1997、1998)は、検索機能を利用して、女性専用とされる文末形式を終助詞「わ」の使用と助動詞「だ」の不使用の観点から観察・分析した。その結果、①「わ」の使用22.8%、不使用77.1% ②「だ」の使用28.0%、不使用72.0% ③「～だわよ」0件、「～だよ」81件 ④「～だわね」0件、「～だね」15件 の数値を得て、女性専用形式の女性による使用が衰退していること、「～だわ」は死語に近くなっていることを報告している。

3-2 敬語使用状況

遠藤織枝(1997、1998)は専用形式の敬語形とそれに対応する語の非敬語形を比較しながら、職場の女性たちの敬語使用状況を観察し、以下の結果を得た。

①尊敬語では「いらっしゃる」(19例)「おっしゃる」(12例)はかなり使われているが、その他では「おいでになる」(3例)「召し上がる」(1例)「ご覧になる」(0例)など、わずかしが使われていない。

②謙譲語も、「いただく(食べるの意)」(2例)「申し上げる」(2例)「うかがう」(1例)「お目にかかる」(1例)「参る」(0例)のようにわずかしが使われていない。「お～する/お～いたす」の対比で、「お願いします/お願いいたします」がみられるが、前者20例、後者6例で、謙譲のレベルの低い方が多く使われている。謙譲語の使用が少ない中であって「～ていただく」だけが例外的に多用され、67例採集している。

③丁寧語「ございます」は、挨拶を除いて、17例使われていたが、この使用は40代に集中し、しかも同一話者が13例使用していて年代と使用する人の偏りがみられた。

3-3 発話開始時にみられる語彙

発話開始時にあらわれる実質的な意味をもたない語について、その種類と場面による出現率の違い、使われ方について考察した。談話資料のうち、①複数の参加者による会話である、②電話など一方的な会話ではない、③朝、休憩は打ち合わせなどを含まず雑談中心であること・会議は雑談を含まず仕事中心である、という条件に合う部分を取り出し、分析の対象とした。取り出したのは「朝」480レコード、「休憩」1177レコード、「会議」699レコードである。

発話開始時にあらわれた実質的な意味をもたない語は、「でも」(42例)、「なんか」(16例)、「えーと」(20例)、「あの一」(38例)、「やっぱり」(9例)などであった。ここで取り上げた「でも」「なんか」「やっぱり」は、本来の語彙的な意味とは離れて、フィラーのような用法となっている。

これらの語の使用状況を場面別にみると、下表のようになる。表中の()内の数字は、直前文の話者が別人のとき(つまり話者が交替した場合)の数値であり、それ以外は、話者の交替ができるタイミングであったが、交替しなかった場合ということになる。

表 発話開始時の語彙

	でも	なんか	えーと	あの一	やっぱり
朝	14 (7)	0	0	4 (3)	2 (0)
休憩	25 (14)	14 (7)	2 (2)	14 (8)	4 (3)
会議	3 (3)	2 (2)	18 (6)	20 (7)	3 (1)

「やっぱり」は使用数が少なく、場面による差もみられないが、「でも」「なんか」は、仕事を離れた雑談場面で多く使われ、「えーと」

「あの一」は、仕事上のやや改まった場面で使われる傾向がある。

それぞれの使われ方をみると、「でも」「なんか」は、積極的に話順をとる際に多く用いられ、「えーと」「あー」は、ある程度話順が予想されている場合や、話順交替のタイミングがあっても、積極的に話順をとるものがいなかった場合などに使われる傾向にある。

4. おわりに

以上、自然談話データ「女性のことば・職場編」の概要と、研究事例を紹介した。本データは、現代の日本語の話しことばを研究する人々の利用に資すべく公開している。少しでも多くの研究に活用され、日本語の実態の解明に役立つことを願っている。

注

共同研究者（50音順）は、宇佐美まゆみ（東京外国語大）遠藤織枝（文教大）尾崎喜光（国立国語研究所）小林美恵子（都立北多摩高）高崎みどり（東京女子医大）中島悦子（国士舘短大）早川治子（文教大）本田明子（筑波大大学院）三井昭子（桜美林大）谷部弘子（東京学芸大）である。資料収集の段階まで市川孝一（文教大）も参加した。また、早川・本田は資料整備の段階からの参加であった。

参考資料

- 尾崎喜光（1997）「女性専用の文末形式のいま」
現代日本語研究会編『女性のことば・職場編』ひつじ書房
- 尾崎喜光（1998）「自然談話資料に見る終助詞『よ』『ね』の使用の男女差」
第1回社会言語科学会予稿集
- 遠藤織枝（1997）「職場の敬語のいま」
現代日本語研究会編『女性のことば・職場編』ひつじ書房
- 遠藤織枝（1998）「東京の女性のことばのいま」『月刊言語』Vol.27 No.1 大修館書店

資料1 協力者の属性とデータ量

協力者 コード	年齢層	職業	レコード数				時間 (分)			
			朝	会議	休憩	合計	朝	会議	休憩	合計
0 1	20代	会社員 (事務)	346	—	—	346	16	—	—	16
0 2	20代	会社員 (事務)	—	—	309	309	—	—	12	12
0 3	30代	会社員 (編集)	152	249	192	593	5	13	11	29
0 4	50代	大学教員	148	322	263	733	9	12	11	32
0 5	40代	会社役員	156	203	339	698	12	10	10	32
0 6	40代	会社員 (編集)	202	138	227	567	19	9	11	39
0 7	40代	大学助手	191	54	—	245	12	7	—	19
0 8	50代	小学校教員	259	188	218	665	12	7	9	28
0 9	30代	高校教員	262	219	279	760	16	8	11	35
1 0	40代	公務員 (事務)	279	413	372	1064	13	13	12	38
1 1	20代	会社員 (営業)	176	87	326	589	15	7	13	35
1 2	50代	公務員 (事務)	104	102	192	398	9	7	8	24
1 3	20代	会社員 (事務)	470	212	340	1022	14	12	11	37
1 4	20代	公務員 (大学事務)	104	151	142	397	11	12	13	36
1 5	30代	会社員 (企画)	218	257	345	820	12	10	11	33
1 6	30代	会社員 (編集)	349	—	416	765	12	—	14	26
1 7	30代	会社員 (編集)	257	68	273	598	9	11	11	31
1 8	40代	公務員 (研究補助)	221	—	279	500	15	—	15	30
1 9	40代	公務員 (研究補助)	93	—	259	352	10	—	10	20
合計 (構成比 [%])			3987 (35)	2663 (23)	4771 (42)	11421	221 (40)	138 (25)	193 (35)	552

(資料1表中の「—」は当該場面のデータがないことを示す)

資料2 データベースのサンプル

行番号	発話	資料 コード	調査日	場面1	場面2	場所	直前文の話 者との関係
7990	きのうねー、勝ったよ、 ワールドカップの予選。	1 4	1993年10月	朝	始業前雑談	室内	《最初》
7991	知ってた↑	1 4	1993年10月	朝	始業前雑談	室内	同人
7992	見てた↑	1 4	1993年10月	朝	始業前雑談	室内	別人

仮名 (発話者の)	発話者性	発話者年齢	発話者職業	発話者職種	発話者役職
14 H	女	20代	公務員	大学事務員	?
14 H	女	20代	公務員	大学事務員	?
14 I	男	20代	公務員	大学事務員	?

相手性	相手年齢	相手職業	相手職種	相手役職
男	20代	公務員	大学事務員	?
男	20代	公務員	大学事務員	?
女	20代	公務員	大学事務員	?

性別 関係	年齢 関係	職場 関係1	職場 関係2	職階 関係	入社年 関係	つきあい年 関係	接触量 関係	会話量 関係	親疎 関係
異	同	同僚	同室	同	?	~1年	多多	多多	普通
異	同	同僚	同室	同	?	~1年	多多	多多	普通
異	同	同僚	同室	同	?	~1年	多多	多多	普通